

- 冗長光スイッチの発売開始
- 特集: 光ファイバ融着接続機 70シリーズ及び12シリーズの発売
- FTTHシステム 設計申請・施工監理業務「小海町情報通信基盤整備事業」

エネルギー・
情報通信

冗長光スイッチの発売開始

東日本大震災においては、光ケーブルの中継系線路などが大きな被害を受けました。災害時の通信ネットワークの重要性が再認識され、光ネットワークの冗長化の要求が高まっています。

当社は、震災に強い光ネットワークの構築のため、伝送装置間の線路を自動で切り替えるための冗長光スイッチを製品化しました。これは、伝送路装置間の光ネットワークにおいて、主経路及び予備経路を予めこの冗長光スイッチに接続しておくことにより、主経路において異常が発生した場合、光のレベルダウンを自動的に検出して予備線路に切り替えを行うものです。これにより、光ネットワークの中断時間を最小限に抑えることができるものです。

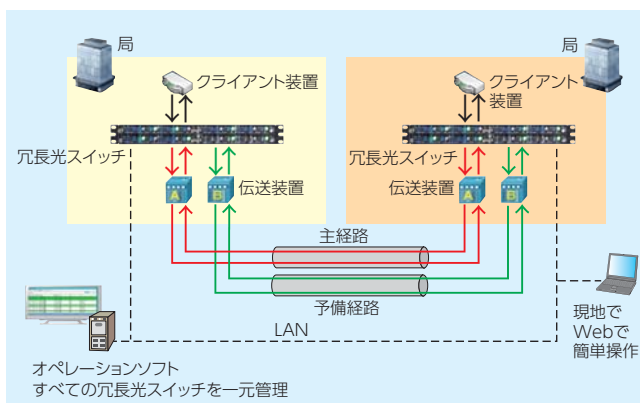
この冗長光スイッチは、災害に強い高信頼性を持った光ネットワーク構築に貢献するものと期待されています。



■ 冗長光スイッチの特長

- 冗長光スイッチ本体とスイッチユニットで構成
- スwitchユニットは、シングルモード (SM)、マルチモード (MM) 用でカプラ有／無各2種類を用意
- 1Uで最大8ch搭載
(2ch単位でのスイッチユニット増設)
- Webで簡単設定操作、オペレーションソフトで一元管理が可能
- 電源断の場合はその状態を維持 (ネットワーク断にならない)
- スwitchユニットは活線状態での挿抜が可能

■ 冗長光スイッチ使用構成例



特集

光ファイバ融着接続機70シリーズ及び12シリーズの発売

当社は、光ファイバ施工に求められる工具の本質を追究し「使いやすく、丈夫で、高い信頼性」を実現した新型光ファイバ融着接続機「70シリーズ」及び「12シリーズ」を2013年4月より順次発売していきます。

単心コア調心光ファイバ融着接続機「70S」

当社は、光ファイバが登場して以来、卓越した技術力により最先端、高品質、高性能の光ファイバ融着接続機を全世界へ供給し、トップシェアを有しています。今回発売するコア直視型光ファイバ融着接続機70Sは作業性向上を目的として様々な新機能を組み込みました。風防/加熱器の自動化による作業ステップ及び接続/加熱時間の低減、開ければすぐに作業開始可能となるキャリングケースデザイン、取扱い説明機能の内蔵化で基本作業からエラー発生時の対処法まで画像を使って説明するなどの多数の新機能で、多様化したお客様ニーズに応える新時代のスタンダードとして開発しました。

また、70シリーズとして固定V溝単心機「19S」、4心機「19R」、12心機「70R」をそれぞれ7月より順次発売予定です。

■70Sの特長

自動開閉風防及び自動開閉加熱器

- 風防/加熱器の開閉作業を自動化し作業ステップを低減
- 世界最速レベルの接続時間7秒及び加熱時間14秒で、作業時間の大幅短縮を実現

キャリングケースデザインの工夫

- 開ければすぐに作業開始できる機材配置、そして取り外し可能作業台を標準装備

取扱い説明書の内蔵

- 基本作業からエラー発生時の対処法まで、画像を使った説明機能を内蔵

耐衝撃緩衝、防滴、防塵構造の強化

- 全方向落下衝撃耐性、操作部及び周囲からの防滴、防塵構造を強化

長電極棒寿命

- 従来比2割超の3000回を実現



■製品仕様

モデル	70S
外形寸法	146(W)×159(D)×150(H)mm
質量	2.5kg (ACアダプター込) 2.7kg (バッテリー込)
販売価格	オープン
年間販売予定台数	70シリーズ全機種、国内外合わせて3万台

モデル概要	モデル名
単心コア調心光ファイバ融着接続機	70S
多心光ファイバ融着接続機、12心機	70R
単心固定V溝光ファイバ融着接続機	19S
多心光ファイバ融着接続機、4心機	19R

小型光ファイバ融着接続機「12S」「12R」

単心用「12S」と多心4心テープ用「12R」は、固定V溝/2軸観察機構を、手のひらに載る最大厚57mmのロープロファイルデザインと融着機概念を打ち破る776gという小型/軽量のパッケージで実現した画期的な光ファイバ融着機であり、4月より発売を開始しました。

インターネットトラフィックの増大に伴い、世界各地で導入が始まったFTTX特有の狭所/高所での作業に適した形状の採用、携帯に便利な作業台の標準装備、新開発大容量Li-ionバッテリーの採用、省電力設計により従来比3倍超の長時間作業の実現、ふたを開ければすぐに融着作業に取り掛かれるキャリングケースの開発による機材準備時間の短縮など、さらなる作業性向上を主眼に開発しました。「12S」は単心機、そして「12R」は4心テープ用多心機です。

■12S/12Rの特長

世界最小・最軽量レベルの本体

- 体積比で従来機1割減、ついに800gを切るロープロファイルデザイン

大容量Li-ionバッテリー採用

- 満充電で100接続/加熱を実現

大型カラーモニタ採用

- 高解像度カラーLCDモニターは4.47インチでクラス最大

キャリングケースデザインの工夫

- 開ければすぐに作業開始できる機材配置、そして本体携帯用の作業台を標準装備

対衝撃、対粉塵、対降雨性能を向上

- 落下衝撃耐性、操作部及び周囲からの防滴、防塵構造を強化

長電極棒寿命

- 電極棒寿命3000回(12S)、1500回(12R)の長寿命を実現



■製品仕様

モデル	12S / 12R
外形寸法	121(W)×162(D)×57(H)mm
質量	776g(バッテリー込)
販売価格	オープン
年間販売予定台数	12シリーズで国内外合わせて5000台

モデル概要	モデル名
小型単心固定V溝光ファイバ融着接続機	12S
小型多心光ファイバ融着接続機、4心機	12R

FTTH システム 設計申請・施工監理業務 「小海町情報通信基盤整備事業」

当社は、“つなぐ”テクノロジーで、地域情報化ネットワーク構築に貢献しています。

高速ブロードバンドの世帯普及率が95%に達した今日でも、残念ながら主に採算上の問題から通信のブロードバンド化から取り残された地域が未だ存在しています。当社では、FTTHソリューションを中心に“つなぐ”テクノロジーを基本とした幅広いソリューションをご提案して、このような皆様のご要望にお応えしています。この度当社では、その一環としてグループ会社の(株)フジクラエンジニアリングを通じ、長野県小海町様が計画された「小海町情報通信基盤整備事業」のうち設計申請・施工監理業務を落札、永年培ってきた通信システム構築ノウハウを活かし、施工業務を落札した東日本電信電話株式会社 長野支店殿と協力して小海町様の情報通信基盤整備事業のお手伝いを通じて、小海町様のブロードバンド化に貢献しました。

小海町は、長野県の東部南佐久地域のほぼ中央に位置し、町の中央を南北に流れる千曲川に沿って帯状の平坦地が形成され、ここを国道141号とハイブリッドディーゼルカーで有名なJR小海線が走り、千曲川の左岸(西部地域)は八ヶ岳連峰の裾野が広大な傾斜地として広がり、右岸(東部地域)は秩父山塊の裾野の段丘帯となっています。夏の冷涼な気候から別荘地としても人気があり、また町の中央部にある松原湖の冬のワカサギ釣りも有名です。

線路設計にあたっては、国道・小海線が走る町の中心地から千曲川両岸に沿って集落が点在する地域が住宅地の大部分を占めているため、幹線道沿いに一条の光ケーブルを敷設して各集落へ後分岐方式で配線するSZ型光ケーブルの利点を活かした設計とし、最終的には、ケーブル亘長約70km約250個の光クロージャで構成される光ファイバネットワークとなりました。

この約70kmに亘る光ファイバネットワークには、一級河川である千曲川の13箇所の河川横断や国・県道を利用したルート、さらには町民の皆様のご理解の元、民地を利用したルート等多様な場所を利用し、5ヶ月間に及ぶ施工監理を経て、平成25年2月末の竣工を迎え、無事、快適な高速インターネットサービスが小海町民の皆様にご利用いただけるようになりました。

小海町情報通信基盤整備事業概要



エンジニアリング事業部 Email:telcon@fujikura.co.jp

株式会社フジクラ 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 TEL:03-5606-1112 FAX:03-5606-1501

●発行:2013年4月 No.381 ●編集兼発行責任者:和田 朗

URL <http://www.fujikura.co.jp>

関西支店 TEL.06-6364-0373 中部支店 TEL.052-212-1880 九州支店 TEL.092-291-6126

東北支店 TEL.022-266-3344 四国支店 TEL.087-825-2740



本印刷で使用する
電力のうち1,000kWhは、
バイオマス発電でまかないます。

